

住宅省エネの2011年総括（政策・市場）と 2020年までの市場分析および予測

【テーマ・講師】

1. 3.11で一変した省エネイメージ
2. 2011年の省エネ住宅政策
3. 省エネ基準が義務づけになる
4. 評価ツールの動向
5. スマートハウスの動向
6. 世界基準の省エネ住宅
7. パッシブデザインの動き
8. 健康住宅の動き
9. 住宅産業

住宅技術評論家 南 雄三 氏

◇ 日 時：平成24年2月29日（水） 13：00～16：30

◇ 会 場：きゅりあん・講習室 東京都品川区東大井5-18-1（会場地図はお送りします）
Tel03-5479-4100 JR・東急・りんかい線 大井町駅下車徒歩1分

＜開催にあたって＞

これまで省エネは温暖化対策で進められてきたが、3.11東日本大震災以降は「脱原発の省エネ」に取って代わられた。温暖化防止で主役だった原発はいまや呪われたものとなり、たった1%しかなかった再生可能エネルギーが俄然注目を集めるものとなった。

停電を回避するために節電に励む国民は、エアコンを避けて石油ストーブを買い求めるなどどこか後ろ向きの行動をとりはじめる。その一方で政府は再生可能エネルギー特別措置法を制定すると共に、省エネ基準の義務化を宣言してガンガン拡大させる。

政府の動きに敏感に反応してスマートハウスにのめり込む大手ハウスメーカー。そして遅れをとる工務店・設計事務所がパッシブデザインで棲み分けを図ろうとしている。

このセミナーでは3.11で揺れた2011年省エネ住宅の動向を総括すると共に、2020年までの市場展望を南雄三独特の視点で見つめてみようというものである。

主催：情報開発(www.joho-kk.co.jp)

住宅省エネの2011年総括と2020年までの市場分析および予測

講師：住宅技術評論家 南 雄三 氏

1. 3.11で一変した省エネイメージ
 - ・健康の省エネ、温暖化防止の省エネ、節電の省エネ
 - ・ライフラインが断たれた時の暖房と室温低下の実態調査
2. 2011年の省エネ住宅政策
 - ・補助金ラッシュの整理整頓
 - ・住宅事業建築主の判断基準と達成状況
3. 省エネ基準が義務づけになる
 - ・改正省エネ基準は一次エネルギー評価? ・2012年度に打ち出させる「認定省エネルギー住宅」とは
 - ・省エネ基準義務化で伝統構法はどうなる・順序は「健康」→「増エネ」→「省エネ」→「ゼロエネ」→「LCCM」
4. 評価ツールの動向
 - ・CASBEE 戸建-既存、CASBEE 健康チェックリストがスタート
 - ・自治体の CASBEE 活用が活発に。。
 - ・LCCM 住宅とは? モデルハウスの概要 認証の動き
 - ・自立循環型住宅ガイドラインで蒸暑地域版、準寒冷地版がスタート
 - ・既存住宅の省エネ改修ガイドラインとは?
5. スマートハウスの動向
 - ・スマートハウスとは?
 - ・スマートハウスは大手ハウスメーカーにしかできないのか?
6. 世界基準の省エネ住宅
 - ・ドイツのパッシブハウスとスイスのミネルギー
 - ・日本でもパッシブハウス評価ができるソフト(建物の燃費ナビ)
 - ・省エネ性能評価制度(エネルギー・パフォーマンス制度)とは
 - ・日本でもはじまったエネパスの動き
 - ・NETゼロエネ住宅の動向(英国は2016年ゼロカーボン、EUは2021年からゼロカーボン)
7. パッシブデザインの動き
 - ・生い立ちによるパッシブの違い(高断熱・高气密から入ったパッシブ、高断熱・高气密嫌いから入ったパッシブ、自立循環型住宅から入ったパッシブ、パッシブハウスから入ったパッシブ)
 - ・意匠から入った「思いっきりパッシブ」の魅力
 - ・気象データの求め方
8. 健康住宅の動き
 - ・省エネ健康住宅国民会議とは?
 - ・脱衣室を暖房しよう
 - ・家の中を10℃以下にしないための必要な断熱性能
 - ・NEBとは?
 - ・作業効率と省エネ
 - ・英国建築病理学視察報告
 - ・住宅医ネットワークの改修診断とは?
9. 住宅産業
 - ・活発になるのかりフォーム市場(省エネリフォーム、健康リフォーム)
 - ・省エネリフォームの手法と危険性
 - ・大手ハウスメーカー主導のスマートハウス vs 地場工務店主導のパッシブデザイン

<質疑・議論>

13:00~16:30 (14:20~14:30・コーヒーブレイク)

申込先・申込方法 (FAX・MAILにてお申し込みください)

(株)情報開発 〒144-0045 東京都大田区南六郷 3-21-9-101

FAX 03(3733)8236 E-mail: info@joho-kk.co.jp

*お問い合わせ先 TEL 03(3737)5765

参加費 (テキスト・昼食代・消費税含む)

1名につき、35,000円。2名以上の場合、1名につき 30,000円。

*原則として開催日前日までにお支払い下さい。都合があれば後日で結構ですが予定日をお知らせ下さい。*席順は申込み順となります。

支払方法 (銀行振込でお願いします) 口座名: (株) 情報開発

*銀行振込 三井住友銀行京橋支店 6561610(当座) 三井住友銀行東京中央支店 2790772(普通) みずほ銀行京橋支店 1237183(普通)

三菱東京UFJ銀行八重洲通支店 4197084(普通)

(FAXの場合は切り取らずにご送信ください)

参加申込書<住宅省エネの総括と市場動向>

NO.

会社名		所在地 〒	TEL
			FAX
ご氏名	ご所属・役職		<input type="checkbox"/> 参加費 (消費税含む) 35,000円 30,000円×()名
備考	e-mail()		<input type="checkbox"/> 請求書 (要・不要) <申込先>情報開発 FAX03(3733)8236